

資料-3.

KOBE 

Human × Smart City KOBE

神戸市スマートシティの 実現に向けて

神戸市スマートシティ推進会議

2021/ 3/23

1. 神戸市スマートシティの実現に向けて
2. 提供サービス(案)
3. 神戸市スマートシティポータル
4. 推進体制
5. デジタル人材育成
6. 2024年までのロードマップ

1. 神戸市スマートシティの実現に向けて

2. 提供サービス(案)
3. 神戸市スマートシティポータル
4. 推進体制
5. デジタル人材育成
6. 2024年までのロードマップ

神戸市がスマートシティを目指す意義

社会情勢の変化

人口減少、少子高齢化の急速な進展、多発する大規模災害、新型コロナウイルスなどの新たな感染症リスクなど様々な社会課題に直面する中で、今後、ますます深刻化、複雑化していく諸課題に関してデータやデジタル技術の活用を通じた解決の加速化が必須



人口減少



新型コロナウイルス



大規模災害リスク



急速なデジタル化 ...

神戸市の思い

豊かな自然環境、国際性や多様性、芸術文化といった神戸の強みを磨き、活かし、神戸のまちの力である「人に優しく、人を大切にする」という気風を大事にしながら、市民と行政、事業者がともに共創し、戦災や震災、自然災害など多くの難局を乗り越え、再起してきたまちとしての底力を発揮したい



スマートシティを目指す意義

テクノロジーの実装・デジタル化の加速によって新しい価値を創出し、市民生活の豊かさと利便性向上、経済活動の回復・成長、環境貢献など、SDGsの達成による持続可能な都市を実現する



持続可能な都市

デジタル技術

目指す姿



Human × Smart City KOBE

～海と山が育み、人間中心の未来を共創していくスマートシティ～



地域の課題解決



デジタルを活用し、
神戸の課題をスピード感を持って解決

少子高齢化

自然災害

経済活性化 ...

デジタルで解決



地域コミュニティの再構築



様々な主体がデジタルで繋がり
市民・企業・行政が一体となったまちづくり



～ 市民生活の質(QOL)の向上 ～



1. **市民中心のスマートシティの実現を徹底する**



2. 市民・企業・行政の三者が当事者として神戸市のスマートシティを**共に考え、共に創っていく**



3. スマートシティで提供する**サービスで地域課題を解決する**



4. 市民データは企業・行政のものではなく **市民のものである**



5. データ利活用する際には市民の同意取得を丁寧に行い
市民の意思でいつでも 同意をオン・オフできるようにする



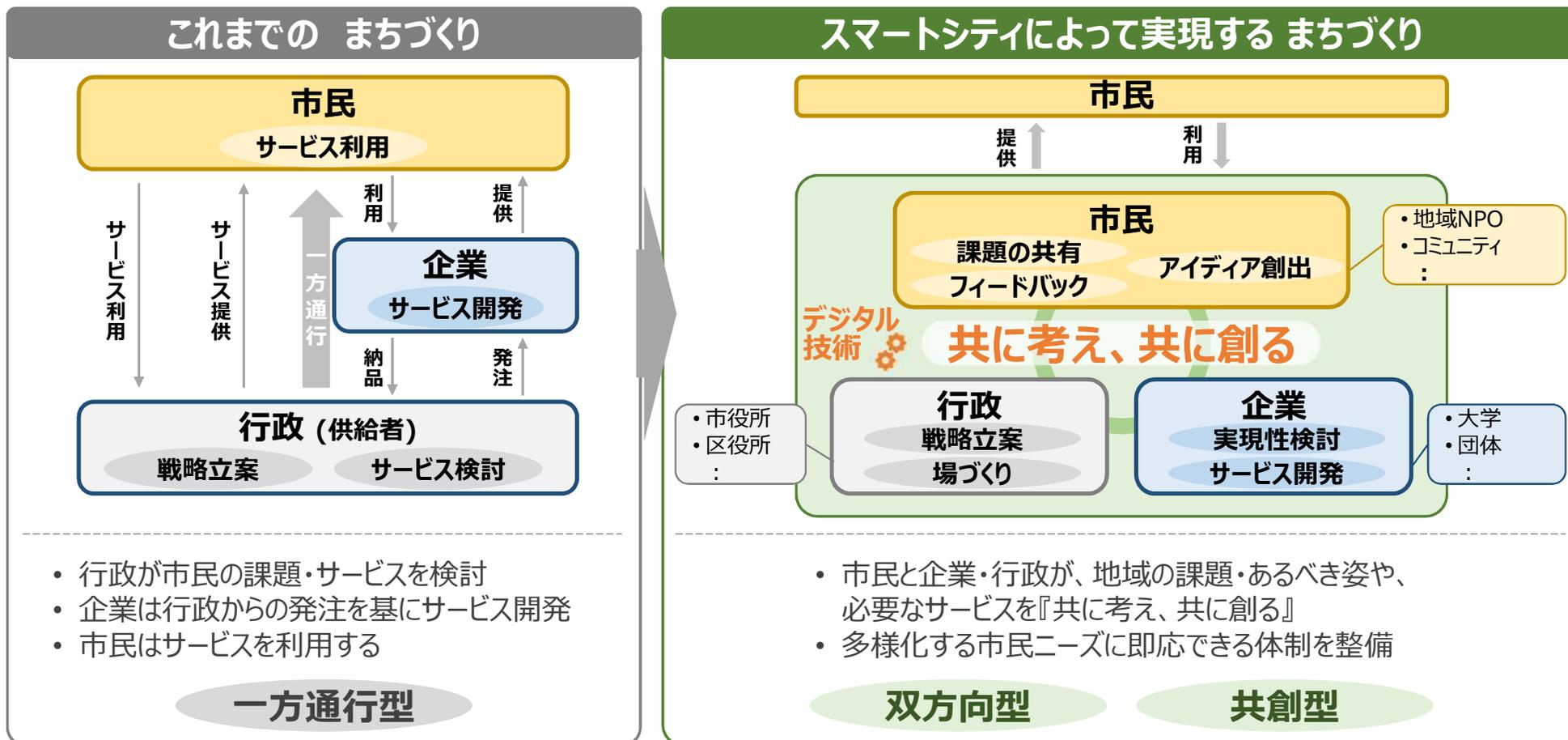
6. 行政区単位ではなく **市民の生活圏をベースに地域特性に応じた
まちをデザインする**



7. **他都市と連携し 双方の価値を高める**

実現するまちづくり

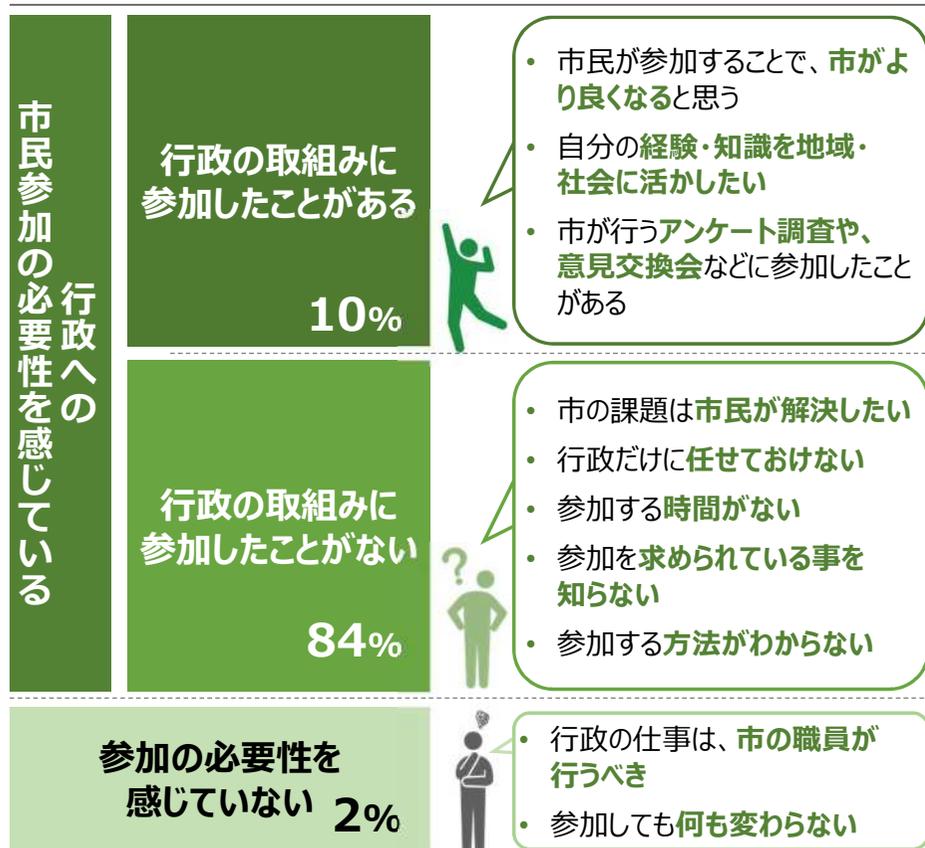
市民が主体となってまちづくりを推進するためには、デジタル技術を積極的に活用し、市民と企業・行政の関係性を再構築することが不可欠。神戸市スマートシティでは市民・企業・行政が『共に考え、共に創る』まちの実現を目指す。



まちづくりへの市民参加

神戸市スマートシティを『共に考え、共に創る市民』の参加率を上げるためには、市民それぞれの参加意欲に合わせた情報発信・施策を実施していくことが重要。

市民の参加意欲*



市民参加に向けた施策

より強固な関係の構築

- 定期的にスマートシティの取り組みについて議論するコミュニティ等を設定し、様々な意見・アイデアを共に創出

参加しやすい仕組みづくり

- ポータルから市民が“気軽に”意見を発信できる仕組みを構築
- SNSとの連携なども検討する

市民参加の重要性を訴求

- 市民参加によって“何が変わったか”の成果を徹底的に訴求

情報発信

地域メディア

- 神戸新聞社
- サンテレビ

神戸市スマートシティの取り組みや方向性をわかりやすく発信

地域イベント

078KOBE

神戸市内の様々なイベントなどでスマートシティの取り組みを発信

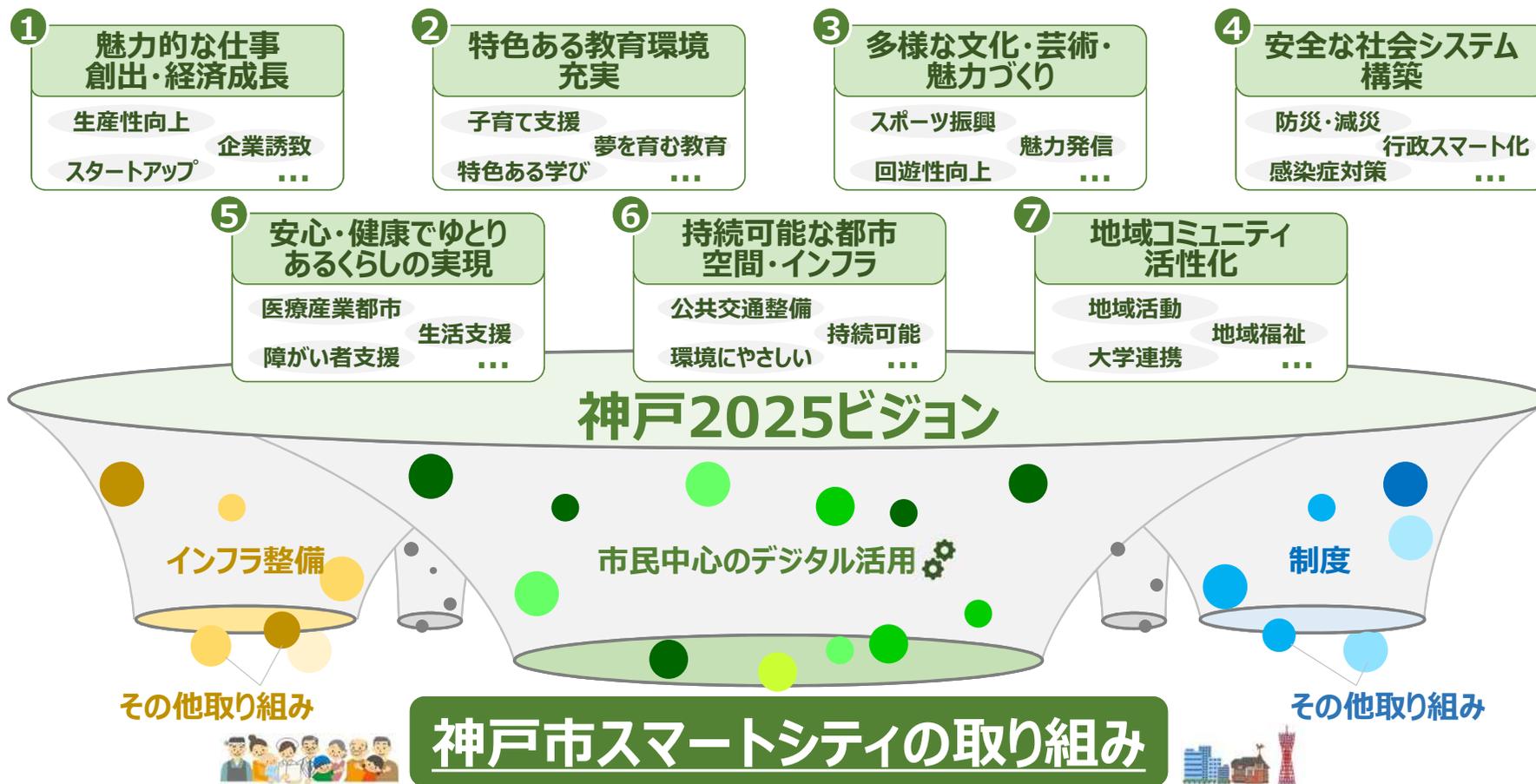
⇒多様な媒体で情報を発信していく

*集計に含まれない4%は未回答及びその他回答

(神戸市ネットモニターへのアンケート調査にて市民参加の必要性に関する考えを集計：1723件回答)
(浦安市平成26年度市民参加に関する意識調査報告書から市民のコメントを作成)

神戸2025ビジョンとスマートシティの関係性

神戸市は2025年までの実行計画として“神戸2025ビジョン”を策定し、7つのテーマを設定している。その中でデジタル技術の活用が必要とされる取り組みを、スマートシティの取り組みの中で実現していく。



神戸2025ビジョンの具体的な施策

① 魅力的な仕事の創出と産学連携による経済成長	中小企業の生産性向上・事業承継
	新しい生活様式に対応した企業活動の支援
	スタートアップ支援・イノベーション創出
	六甲山上スマートシティ構想の推進・都市型創造産業の集積
	持続的な農業と農村地域の活性化
	食都神戸の推進
	神戸医療産業都市の推進
	企業誘致の推進
	国際コンテナ戦略港湾の集貨・創貨・競争力強化
	国際的なネットワークの構築による外国人材の集積
② 妊娠・出産・子育て支援と特色ある教育環境の充実	在住外国人との共生の推進
	大学などとの連携促進
	女性が活躍できる環境づくり
	妊娠・出産・子育て期の支援、子育て支援施策の情報発信
	仕事と子育ての両立支援
③ 多様な文化・芸術・魅力づくり	生きる力と夢を育む教育の推進
	神戸の特色ある学び（創造的学び・国際教育など）の推進
	神戸市文化芸術推進ビジョンの取り組み
	文化財の新たな保存と活用の推進
	スポーツの振興
	本に親しめる環境づくり
	食都神戸の推進（再掲）
	首都圏などへの神戸の魅力発信及び移住促進
	神戸観光の推進
	六甲山・摩耶山での観光と豊かな自然を活かしたアートシーンの推進
都心・三宮再整備の推進と回遊性の向上	
ウォーターフロントなどの魅力向上	
駅前空間の魅力向上	
須磨海岸・海兵公園の魅力向上	
地下鉄海岸線沿線・市街地西部地域の活性化	

④ 災害や感染症などを踏まえた安全な社会システムの構築	防災・減災の取り組み
	災害に強いみなとづくり
	浸水に強いまちづくり
	感染症などを踏まえた消防・救急体制の確立
	感染症の発生拡大に備えた保健所の体制強化や対策の強化
⑤ 安心・健康でゆとりあるくらしの実現	感染症などを踏まえた移動手段の利用促進
	感染症などを踏まえた文化的活動の維持・振興
	行政手続きスマート化
	デジタルリテラシーの向上
	児童生徒の学びの保障
	認知症神戸モデルの推進・高齢者への支援
	障がい者への支援
	生活困窮者の支援
	神戸医療産業都市の推進（再掲）
	医療の変革
「健康創造都市KOBE」の推進	
⑥ 将来にわたって持続可能な都市空間・インフラ	地域福祉のプラットフォームの推進
	空き家・空き地対策
	きめ細かで持続可能な交通環境の形成
	交通インフラの整備
	持続可能なまちづくりとエネルギー政策
	環境にやさしい移動手段の利用促進（再掲）
	計画的開発団地・都市公園などのリノベーション
駅前空間の魅力向上（再掲）	
⑦ 多様な市民の参画による地域コミュニティの活性化	持続的な農漁業振興のための環境づくり
	地域活動の活性化
	大学などとの連携促進（再掲）
	在住外国人との共生の推進（再掲）
	空き家・空き地対策（再掲）
地域福祉のプラットフォームの推進（再掲）	

※ 太赤字は特にスマートシティの取り組みと親和性が高い施策

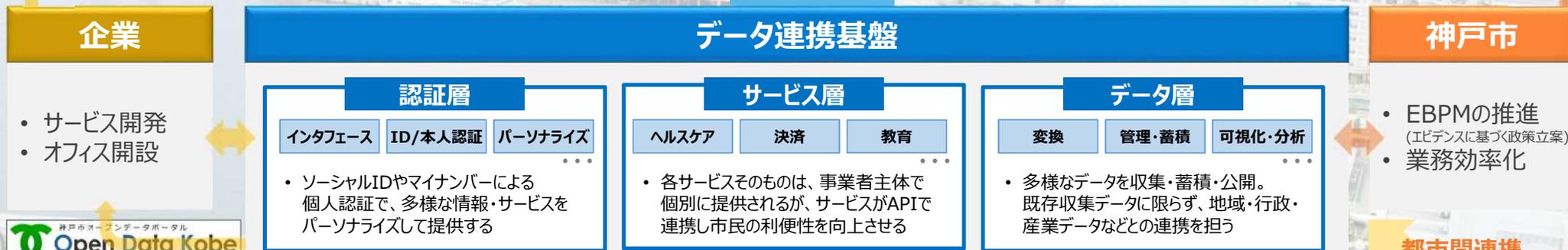
神戸市スマートシティの全体像

市民・観光客・企業

【デジタル弱者を取りこぼさない対策】
デジタルに不慣れな“デジタル弱者”
向けの支援体制を構築



ソーシャルID / マイナンバー 等



神戸市オープンデータポータル 

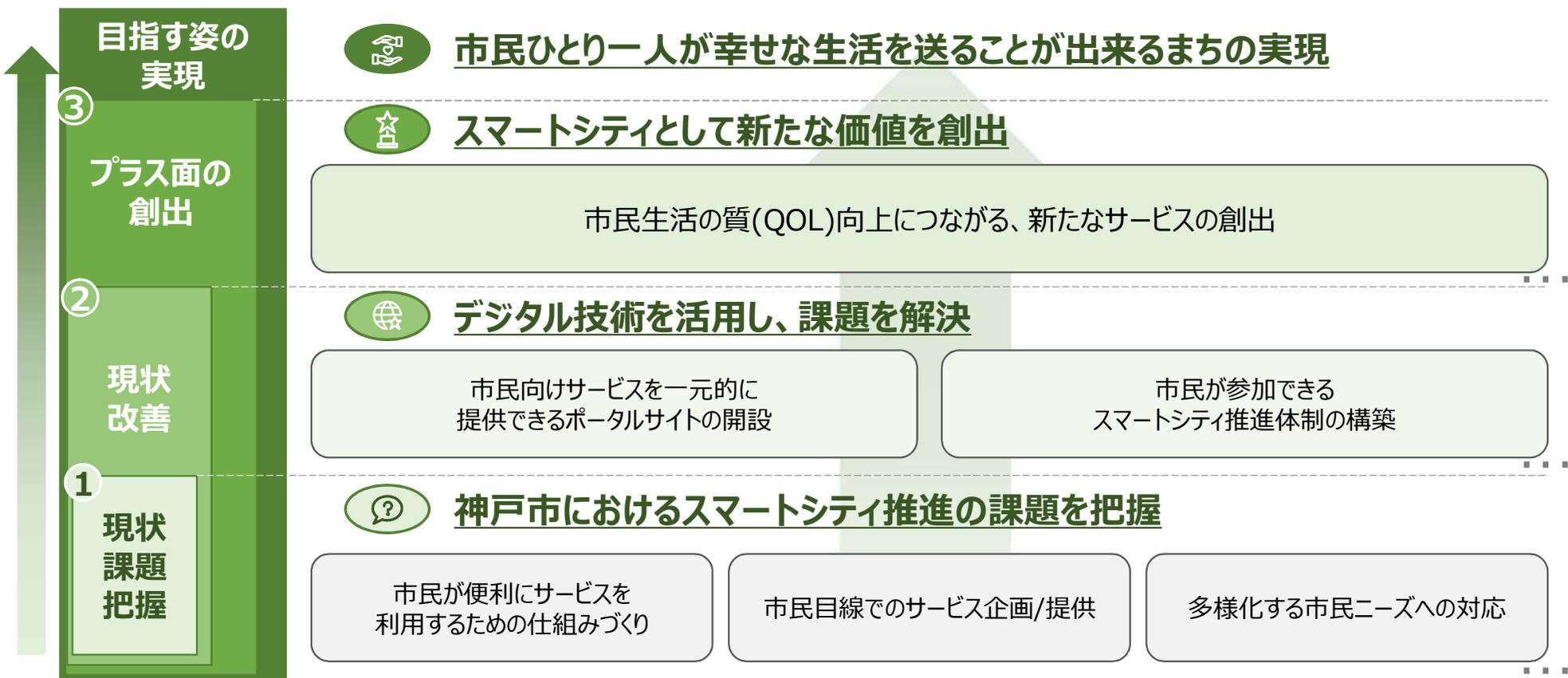
都市間連携 

ネットワーク(5G/IoT)



神戸市スマートシティ推進の基本ステップ

神戸市スマートシティ推進を市民にとって意味のある取り組みにするためには、未来を見据えたうえで現状のスマートシティ推進における課題を把握し、持続的に改善に取り組まなければならない。



1. 神戸市スマートシティの実現に向けて

2. 提供サービス(案)

3. 神戸市スマートシティポータル

4. 推進体制

5. デジタル人材育成

6. 2024年までのロードマップ

神戸市民ペルソナ (1/2)

神戸市のスマートシティの在り方を考えるために、神戸市民のペルソナを統計データに基づき設定。



日常を楽しみながら
楽しく健康に過ごしたい

中村 洋子さん(70)
神戸市須磨区在住

高齢者



- 3歳上の夫と持ち家の一戸建てで**2人暮らし**
- **65歳までパートをしていた**が、現在は退職している
- 旅行が趣味だったが、コロナ禍もあって最近では近場で過ごすことが多く、**健康のために散歩でも始めようかと考えている**
- 娘が購入してくれたスマートフォンを使用しているが、**娘に教わらないと新しい機能は使えない**
- 息子夫婦が帰省してくれると、**生活に変化ができて嬉しい**
- **介護施設に入っている高齢の母が認知症なので、自分も気を付けなくては**と思っている



就活と研究の両立
就職活動も成功させたい

藤原 翔太さん(24)
神戸市灘区在住

学生



- 高校まで大阪在住だったが、**大学進学を機に神戸市内へ**
- 徒歩で通学できるように、大学の最寄駅の阪急六甲駅の南側にアパートを借りた。大学までは徒歩25分
- 通学途中にコンビニで飲み物を買うことが多く、**最近はキャッシュレス決済を利用している**
- レジ袋有料化に伴い、**エコバッグを持ち歩いている**
- 最近になって、**就職活動を始めた**。先輩に話を聞くと、就職を期に**東京に行く可能性が高いか**と考えている
- 生まれも育ちも関西なので、**できればこのままずっと神戸に住み続けたい**なと感じている

神戸市民ペルソナ (2/2)

神戸市のスマートシティの在り方を考えるために、神戸市民のペルソナを統計データに基づき設定。



仕事も家事も大忙し
もっと自分の時間が欲しい

井上 愛さん(32)
神戸市垂水区在住



- 夫(32歳)と保育園に通う娘(3歳)と息子(1歳)の4人暮らし
- 2年前に生まれ育った垂水区に**持ち家を購入**。治安が良く、ご近所さんもよい人が多いので住んでよかったと思っている
- 子供の世話、仕事、家事と常に忙しく、会社と自宅の往復で、**自分の時間がなかなか確保できていない**
- 子育て関連情報は**友人・知人から収集することが多い**が、情報サイトなどをネットサーフィンすることもある
- 働きながら子育てしやすい環境や支援策があれば、**3人目の子供も考えようかな**と思っている



管理職として働きながら
家族との時間も大事にしたい

鈴木 剛さん(45)
神戸市西区在住



- 妻(43歳)と娘(15歳)と息子(13歳)と**持ち家で4人暮らし**
- **製造業の会社で管理職**をしている。妻と共働き
- 土日に出勤することもあり**忙しい日々を送っている**
- 小学生の時に交通事故に遭って以来、**娘は車椅子を利用して**おり、朝晩の送り迎えが日課となっている
- 高齢の両親が**北区の実家に住んで**おり、**定期的に顔を出すように**している
- 昨今の災害報道などを見て、**娘や両親のことを考えると、万が一に備えて防災対策を**しなくてはと思っている

既存提供サービスなどに関する市民の声

スマートシティの取り組みでは市民の声に基づいて既存のサービスの更新や、市民にとって真に価値のある新規サービスの構築を推進する。

サービスごとに
アプリを入れなきゃ
いけないの？ (40代 男性)



一元的なポータルを整備し、
様々なサービスを利用可能に

子供の学校からの連絡、
いい加減紙はやめて..。



(30代 女性)

保護者と学校をつなぐ
デジタルコミュニケーション

どんな行政サービスがあるか
そもそも知らないや..



(30代 女性)

アプリとかログインとか、
この類はどうもとっつきにくい。



(60代 男性)

既存サービスのUI/UX改修
ペルソナ別の情報発信

キャッシュレスなんて
どれも同じでしょ？



(20代 男性)

“神戸らしい”
決済サービスの導入

保活の情報収集や役所への
相談..毎回疲れてきた。



(30代 女性)

子育て情報のプッシュ配信、
手続きの利便性向上

外出時の避難場所は
分かる自信がないなあ..



(40代 男性)

位置情報に応じた
最適な避難行動の通知

バイタルデータを溜めて、
一体どうするの？



(70代 男性)

市民にメリットのある
ヘルスケアサービス提供

高齢者



学生



子育て世代



ミドル世代



ヘルスケア関連サービス：将来イメージ



① バイタルデータを集約

- IoTセンサーやウェアラブルデバイスなどで取得したデータを蓄積
- バイタルデータの取得は、地域イベントや高齢者向け講習会等を通じてサポート

② ポータルとの連携

- バイタルデータに異常があればポータル上で通知
- ポータルからそのまま病院の診察予約

③ データを元にした診察

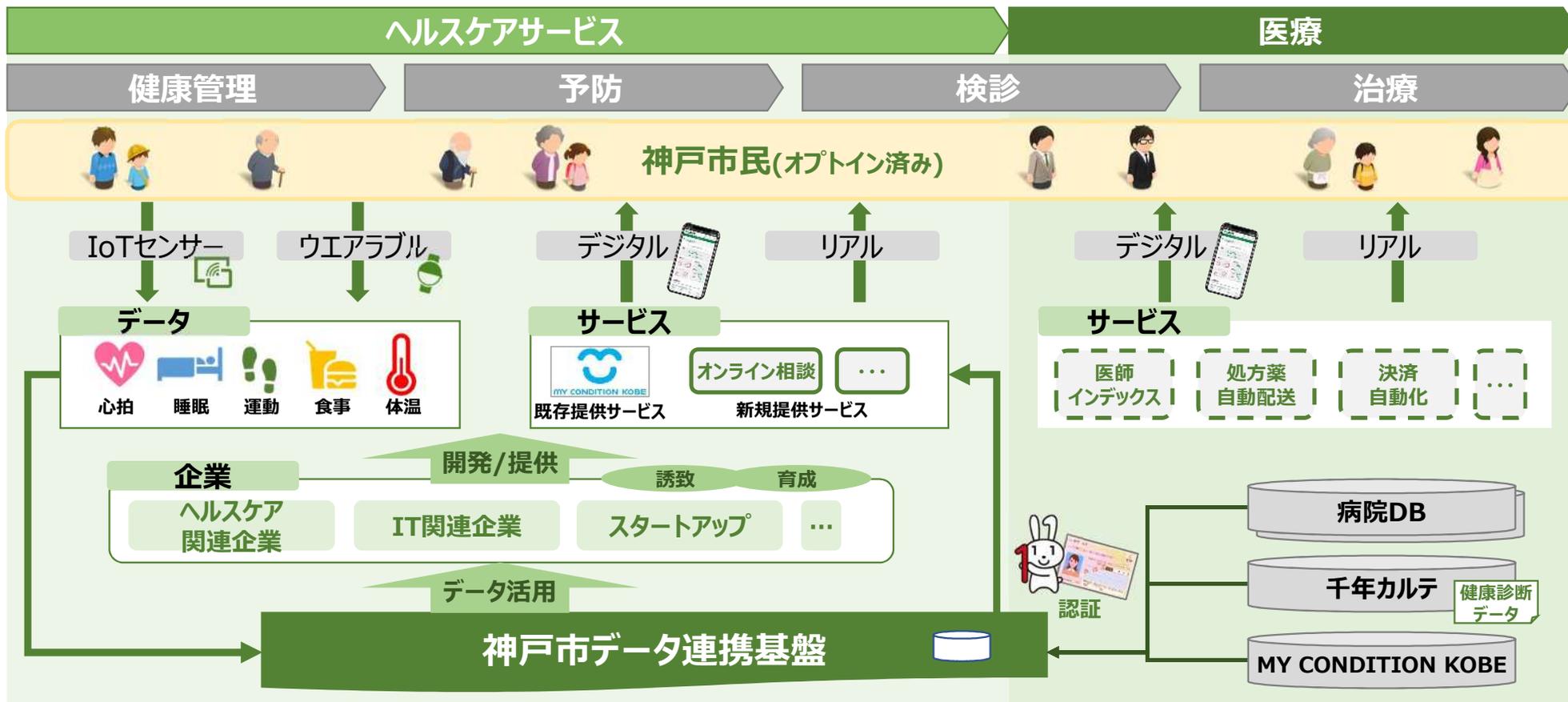
- 蓄積したデータを元に、オンライン健康相談や病院での診察・治療が可能に

④ 蓄積データの活用

- 日常の健康相談や診察・治療だけでなく、緊急時対応への活用や、保険料等見直し等にも

ヘルスケア関連サービス

様々なタイミングで市民のバイタルデータを収集・分析・可視化し、サービスとして市民に提供していく。
市民にとって価値のある新たなヘルスケアサービスが生まれ続ける仕組みをまち全体で整える。



決済関連サービス：将来イメージ

学生



①地域にもお財布にも優しい決済サービス

- 市民はデジタル決済を一つにまとめることが出来、使いやすい
- 企業は決済手数料がお値打ち
- 地域には決済データが蓄積

②市内加盟店と顧客間のコミュニケーション

- 市民は市内加盟店からのイベント情報やクーポン情報などが受け取れる

③デジタル決済手段をスマートフォンで管理

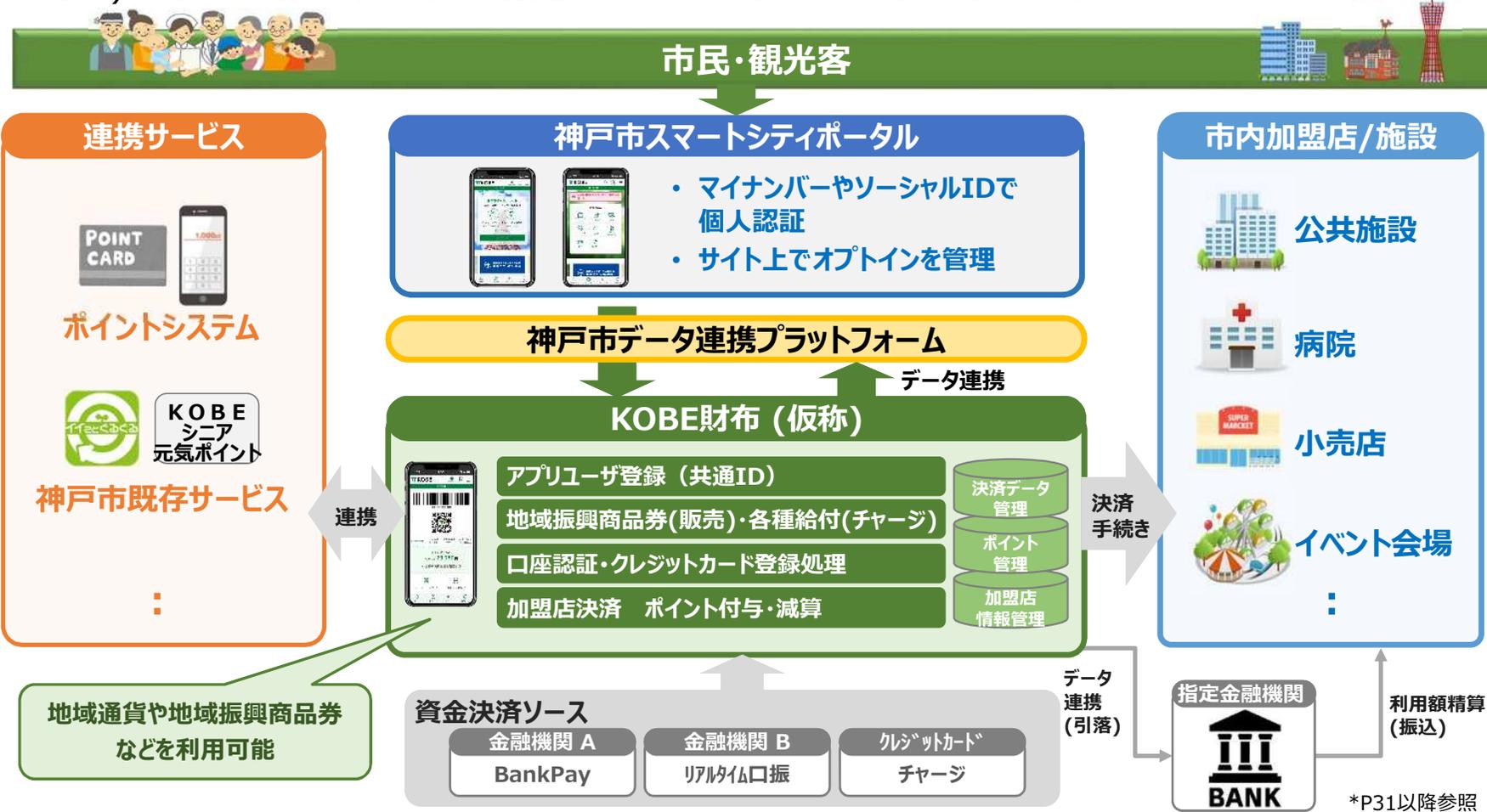
- 地域振興商品券や各種給付金などをデジタル決済で利用することが出来る

④地域活動でポイント付与

- 地域活動や社会活動に参加することでポイントを獲得することが出来る。
(「イイことぐるぐる」・「KOBEシニア元気ポイント」等と連携)

決済関連サービス

市民の決済利便性向上や地域内経済循環を目的に、神戸市スマートシティポータル*と連携する決済サービス (KOBE財布)を構築。市民のオプトインを前提に決済データなどを蓄積し、市民向けサービスのブラッシュアップなども実現。



決済関連サービス：メリットと展開イメージ

市民・企業・地域のそれぞれにメリットがあるような決済の仕組みをスマートシティサービスとして構築する。

決済関連サービスのメリット

市民

- 自分の**決済履歴が蓄積され**、ポータルから確認可能に
- 自分に合った**おすすめ商店などをプッシュ型でレコメンド**
- **地域振興商品券などのデジタル利用が可能に**(1円単位で利用可能)

企業

- **割安の決済手数料**でキャッシュレス決済を利用
- 市民の決済データを基にした、**効果的なプロモーションが可能に**

地域

- **地域内消費を促進し**、地域経済の活性化につなげる
- **決済履歴などをビックデータとして分析し**新たな市民向けサービスを創出
- **地域振興商品券などのデジタル化を実現し**、コスト削減につなげる

大手小売りチェーン



- 電子決済の導入を進めているが、プリペイド方式であり、利用者のさらなる利便性向上を検討中

大型商業施設



- 施設独自のメンバーカードを発行しているが、個人の購買データなどの収集は出来ない

地域商店街



- 電子決済を導入していない店舗も多数存在
- 各店舗独自でポイント制度導入などを検討しているが、将来的な店舗横断の統一も見据えている

地域活動



- KOBE学生地域貢献スクラムなどの地域活動の対価を決済サービス上で支払い
- 神戸市内での経済活動に利用いただくことで地域内消費を喚起

子育て関連サービス：将来イメージ

子育て世代



① 子育て世代は忙しい！

- 様々な行政手続き
保育園探し/出産届...
- 様々な雑務
情報収集 / 買い出し..

② ライフイベントに応じた 情報配信

- 産前/産後/保育施設入所
など、様々なライフイベントの
タイミングに合わせてポータル
から“プッシュ配信”で情報が
届く

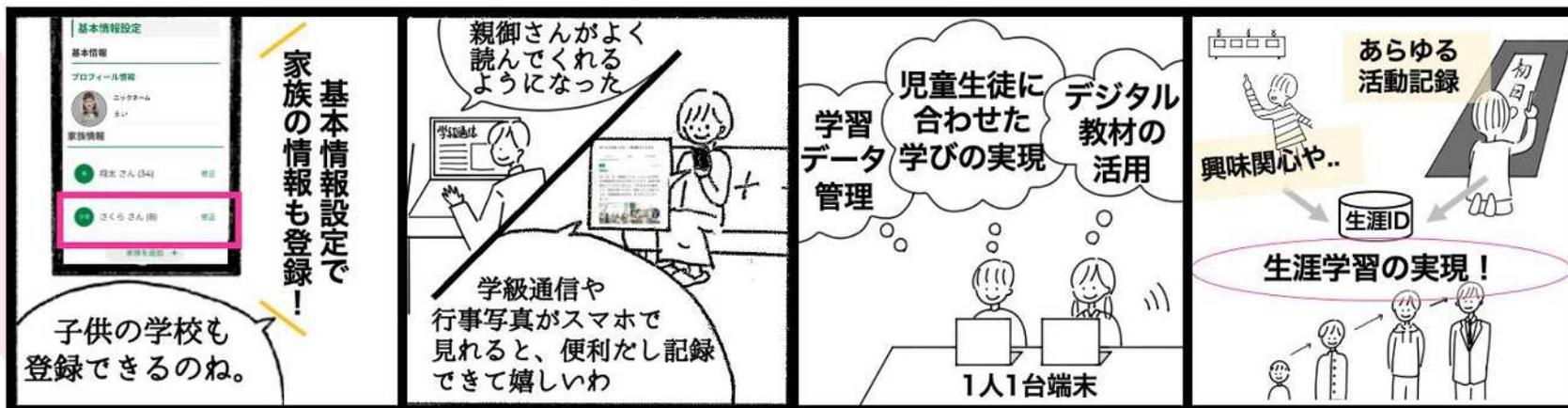
③ 子育て関連施設マップ

- 保育施設マップで保活をサポート。施設の空き状況も配信
- その他子育てに優しい施設の
紹介や、子育てコミュニティ・
サークルの情報なども配信

④ ゆるやかに助け合える コミュニティの形成

- 同じ悩みを持つ子育て世帯等
とポータルを介して繋がる
- コミュニティを通じて、子育て用
品やおもちゃなどの『モノのシェア
リング』や、送迎支援・託児など
『コトのシェアリング』を実現

子育て世代



① お子様情報の登録

- 神戸市スマートシティポータルからお子様やお孫様の情報を登録（学校・学年・クラス）

② 学校連絡のデジタル化

- クラスの学級通信や行事の写真をポータルで確認できる
- 学級通信や写真の共有を通して学校⇔保護者のコミュニケーションを円滑に

③ 教育現場のICT化推進

- 「GIGAスクール構想」と連携し、学習データの管理・活用、児童それぞれに最適化された個別教育を実現

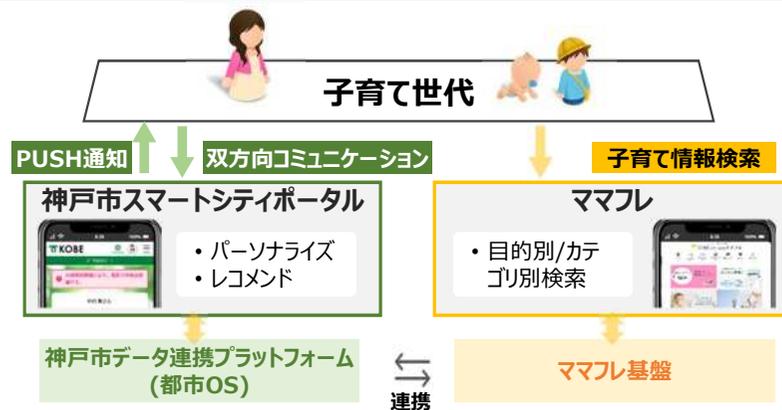
④ あらゆるデータ利活用による生涯学習の実現

- 学習データだけでなく、幼い頃の興味関心や習い事・部活動の活動等、あらゆるデータを蓄積・分析し、生涯にわたる教育支援を実現

子育て 教育関連サービス

子育て世代との双方向コミュニケーション環境を実現することにより、市民生活の利便性向上に貢献する。

子育て支援 (幼稚園・保育園)



- 子育て世代が必要とする情報を効果的に提供するために、既存の情報提供サイトである“ママフレ”と、神戸市スマートシティポータルのプッシュ型情報発信を共存
- 産前・産後・就学などの、市民のライフイベントのタイミングに合わせた適切な情報発信を実現する

学校と家庭をつなぐ情報配信 (小・中学校)



神戸市スマートシティポータルからお子様の情報を登録

- 神戸市スマートシティポータルからお子様・お孫様が通う学校・学年・クラスを登録
- クラスの学級通信などがプッシュ型で配信され、タイムリーに情報を受け取ることが出来るようになる



① 防災情報の設定

- 災害時の位置情報などデータの取り扱いに関してポータルで事前設定

② 大規模災害発生

- 出張中に大規模災害発生 地震 / 大雨 / 台風...
- 他都市間連携をすることで、どこでも防災サービスが利用できる

③ 災害時の避難指示

- 位置情報や事前に登録したデータから、周辺の避難場所を指示
- 避難所の空き情報なども確認できる

④ 家族の安否確認

- 自分だけでなく、登録しておいた家族の安否確認も可能
- アフターフォローも事前登録情報から実施可能

防災関連サービス

災害時の個人情報取り扱いについて利用者の事前オプトインを取得することで、災害時に利用者の位置情報や持病情報などを収集。利用者が現在いる場所において、現時点でとるべき最適な避難行動を、プッシュ型で通知する。

防災関連サービスの概要

1 日頃から利用促進

様々なサービスが提供されている神戸市スマートシティポータルから防災サービスを利用可能にし、平時からの利用・認知を促進

2 利用者の事前オプトイン

災害時のデータの取り扱いについて、利用者が明示的にオプトインすることで、利用者は安心して情報を提供・サービス利用可能であり、行政も災害時の情報利活用に戸惑うことなく適切な減災活動が可能

3 他都市との連携

他地域とも市民のオプトイン情報などを連携することで、災害時にその地域以外の利用者(旅行者・出張者など)に対しても適切な防災サービスの提供が可能



観光関連サービス

神戸の魅力を伝え国内・海外観光客を獲得するために、デジタル技術を活用した旅マエの効果的な情報発信や、旅ナカの高付加価値体験の提供を実現する。

旅マエ情報発信



- 国籍別の趣味趣向をSNSやオープンソースなど多様なデータから分析し、言語ごとに掲載内容を変えた観光ホームページを整備
- ホームページ来訪者データの分析・コンテンツのブラッシュアップにより、観光客の増加を実現

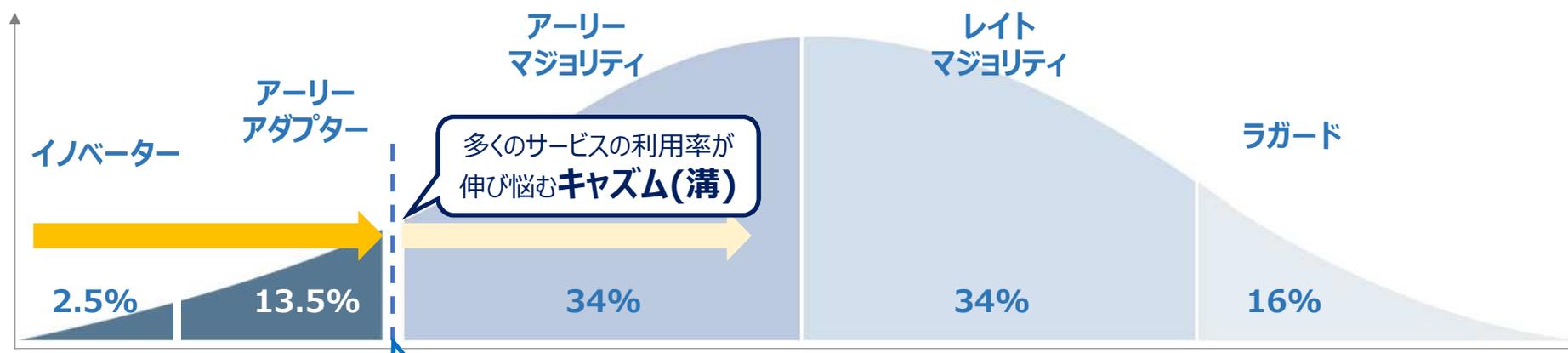
旅ナカ情報発信



- 観光客の位置情報・決済履歴等をオプトインで取得し、それぞれにパーソナライズされたレコメンドを通知 (地域商店のプロモーションなどにもつなげる)
- 地元住民とのマッチングなども促進し、神戸でしか体験できない付加価値の高い体験を提供 (宿泊需要の喚起・神戸ブランドの訴求等)

サービス利用を促進するプロモーション

神戸市スマートシティポータルや様々なサービスを多くの市民に利活用いただくために、利便性の高いサービスをスピード感を持って提供することはもちろん、口コミ・SNS・リアル/オンライン広告を活用したプロモーションを実施する。



キャズムを超えるPR施策

クチコミ

- 婦人会や老人会などの**特定のコミュニティ**で、数十人～数百人規模でリリース
- コミュニティから“仲間内”に**じわじわと広げる**



SNS

- InstagramやClubhouseなどのSNSを活用し、**継続的な情報発信**
- インフルエンサーなどを活用し“**バズる**”情報発信



リアル/オンライン広告

- 神戸市内の施設や役所内/電車内に**ポスターを設置**
- YouTubeやFacebookなどで年齢・性別などのセグメント別の**ターゲティング広告**を配信



ペルソナ別の具体的な施策

神戸市スマートシティポータルの利用促進は、市民それぞれの属性・行動スタイルに合った形でプロモーションを実施することが重要。以下のように市民共通的な施策と、ペルソナ別に有効な発信手段をとり、ポータル・サービスの利用促進に繋げる。



1. 神戸市スマートシティの実現に向けて
2. 提供サービス(案)
- 3. 神戸市スマートシティポータル**
4. 推進体制
5. デジタル人材育成
6. 2024年までのロードマップ

神戸市スマートシティポータル



市民生活の利便性向上を目的に、市民それぞれにパーソナライズされた情報・サービス提供を可能にする『神戸市スマートシティポータル』を構築する

行政と市民の**双方向コミュニケーション**
を促進・継続させるための
デジタルコミュニケーションプラットフォーム



市民それぞれに合わせて**パーソナライズ**し、
誰もが使いやすいユーザーインターフェース

使いやすい

単に欲しい情報の提供だけでなく、**探す時間の軽減&見るワクワク感も高めるユーザーインターフェース**



ログイン



プッシュ通知

頼りになる

市民ひとり一人にとって**必要なサービス・情報をポータルから一元的に利用・確認**できる



サービス利用



レコメンド記事

安心できる

サービスに対する個人情報提供の有無を、**市民が自分のタイミングでいつでも決定**することができる



オプトイン

公式ホームページと神戸市スマートシティポータルとの関係性

公式ホームページのコンテンツを市民にとってわかりやすい形式・ユーザーインターフェースに更新することに加え、神戸市スマートシティポータルと連携することで、市民ひとり一人に対して効果的な情報・サービス発信を実現する。

公式ホームページ



課題

- 3万ページ以上の情報を掲載
- 市民は“探す手間”がかかる
- 各部門が更新権限を持ち、玉石混交の情報が随時アップ

解決施策

- 既存のホームページを見直し、更新ルールなどを策定する
ホームページ監理官を新設
- 市民にとって“わかりやすい”記事内容・ユーザーインターフェースを実現する

市民にとってわかりやすいコンテンツを整備

相互連携

ポータル

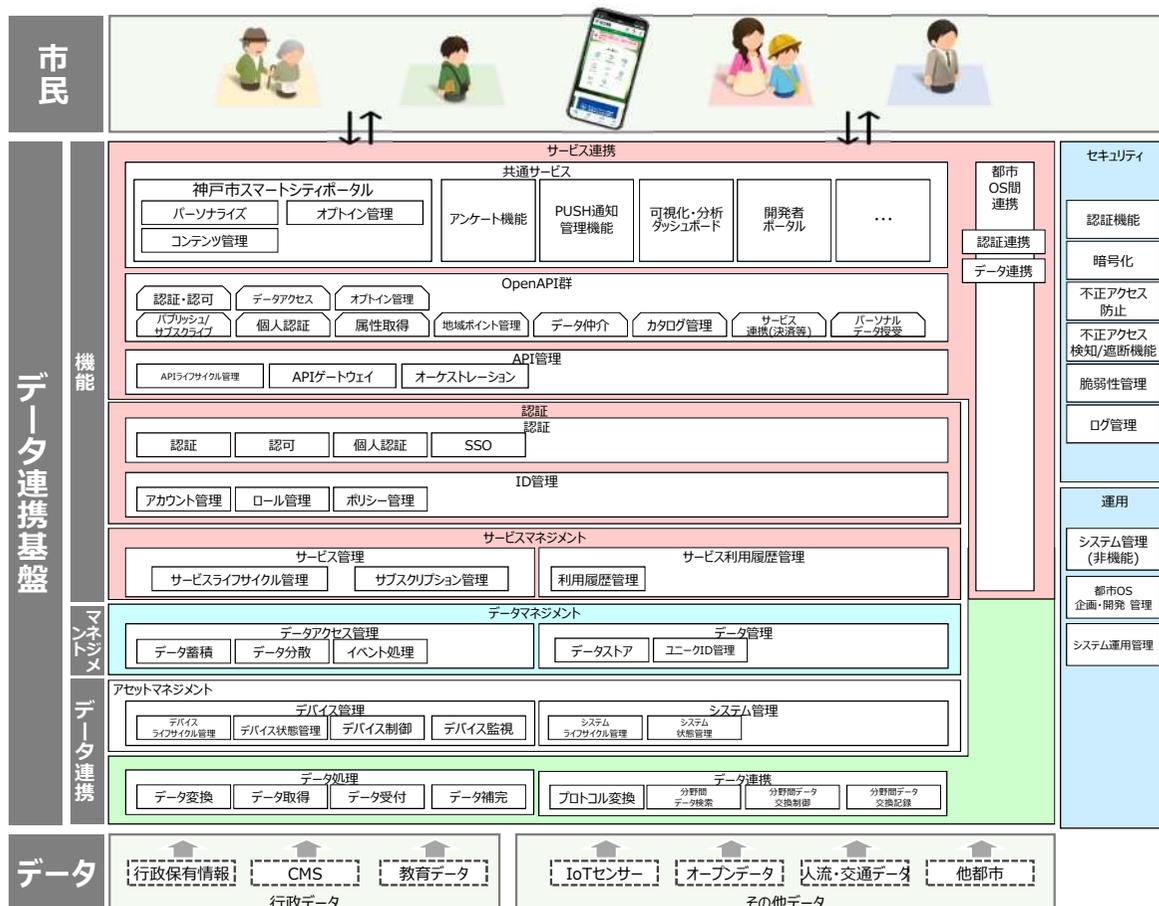


市民がアクセスしやすい仕組みづくり

- 民間サービスを含む多様な市民向けサービスを一元的に利用可能
- 市民ひとり一人にパーソナライズされたレコメンド記事などをプッシュ型で配信

スマートシティを支えるデータ連携基盤(都市OS)の全体像

スマートシティサービスやポータルを支える基盤として、内閣府が定めるスマートシティリファレンスアーキテクチャに則ったデータ連携基盤を整備する。拡張性を担保した構成にし、新たなサービスやデータの追加を可能にする。



柔軟なサービス間連携

市民向けの多様なサービスがデータ連携基盤を通じて連携・運用される
(サービス間のデータが連携され、適切なレコメンドを実現するなど)

ワンストップID認証

マイナンバーやソーシャルIDを活用した認証機能を整備。市民・管理者ともに権限管理をしたアクセス制御

オプトイン管理

個人情報提供有無を管理し、市民はポータルからいつでも設定を変更できる

都市間連携

スマートシティリファレンスアーキテクチャに定める標準APIを整備することで都市間のサービス・データの連携を実現

多様なデータの連携

神戸市保有データ(行政データ)や、センサーなどから収集されるデータを適宜連携

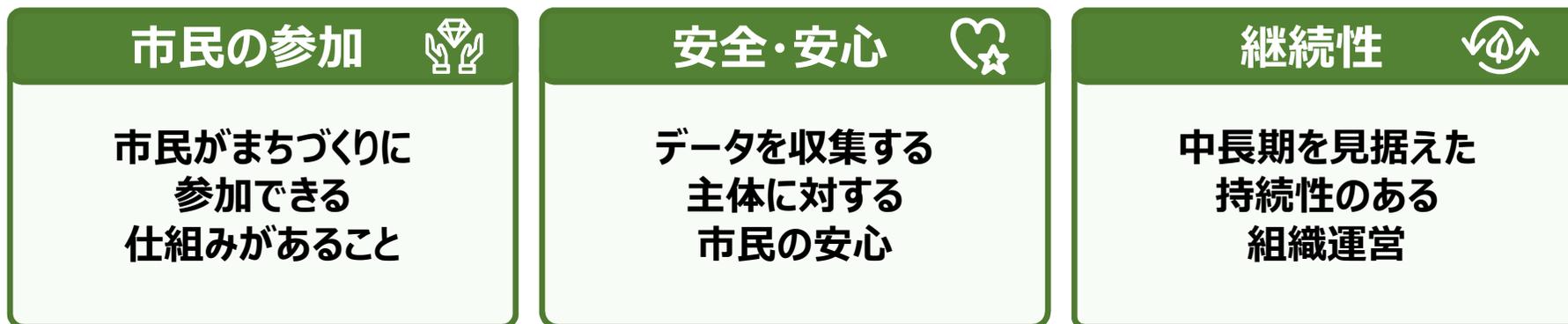
※構築範囲は要検討

1. 神戸市スマートシティの実現に向けて
2. 提供サービス(案)
3. 神戸市スマートシティポータル
- 4. 推進体制**
5. デジタル人材育成
6. 2024年までのロードマップ

スマートシティ推進体制の必要性

スマートシティではまちの在り方を様々なステークホルダーが共に考え、共に創りその姿を実現していく。
神戸市スマートシティ推進協議会(仮称) は市民・企業・行政が参加し、市民が安心してデータを提供できる体制を整え、持続可能な取り組みを推進する。

スマートシティ推進体制に不可欠な要素



神戸市スマートシティ推進協議会 (仮称)

多様なステークホルダーの参加

データ管理ルールの徹底とセキュアなシステム

属人的でない体制の構築

現実的で継続性のある推進計画

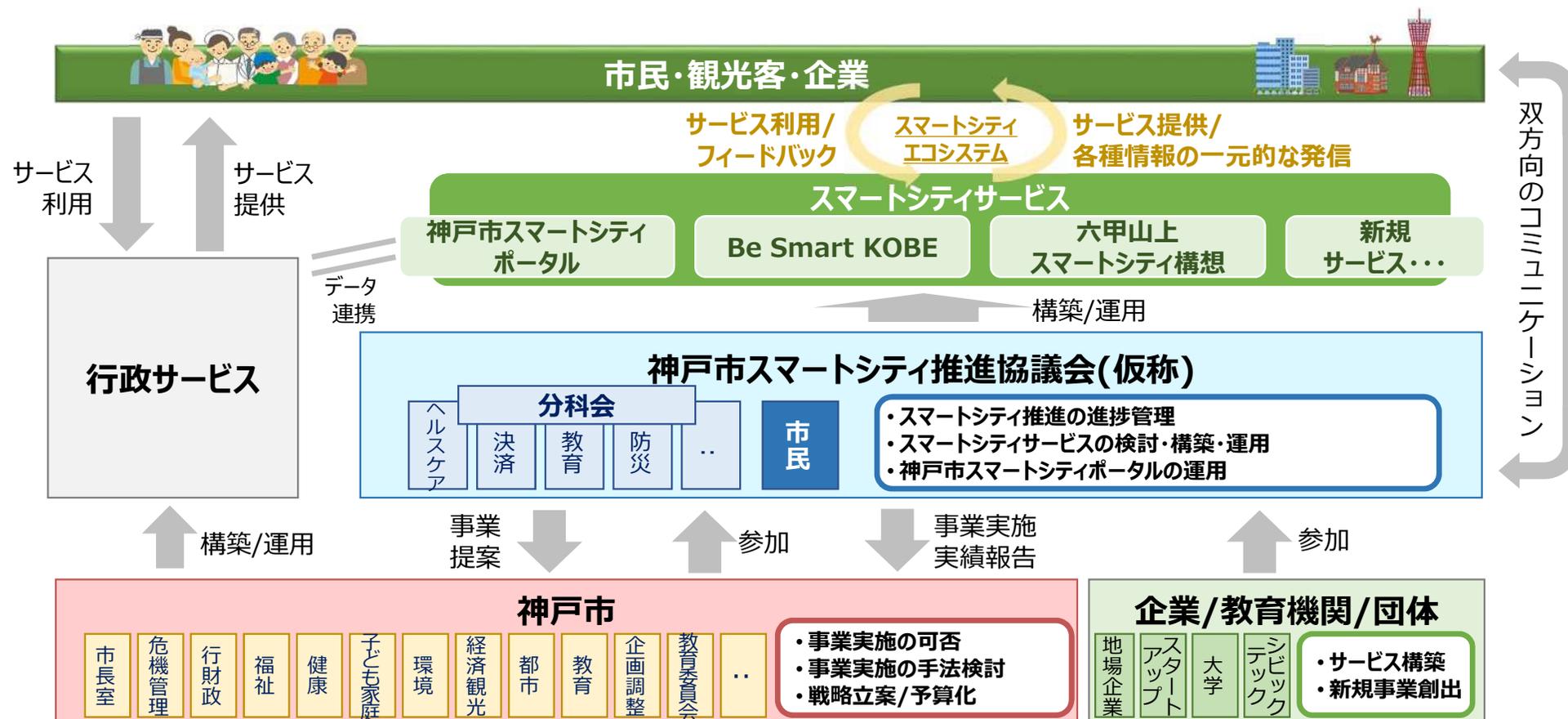
【参考】スマートシティ推進体制の類型

スマートシティリファレンスアーキテクチャでは、推進体制として以下3類型が定義されている。神戸市スマートシティでは多様なステークホルダーが参加し、一丸となってスマートシティを推進する『地域協議会主導モデル』を採用する。

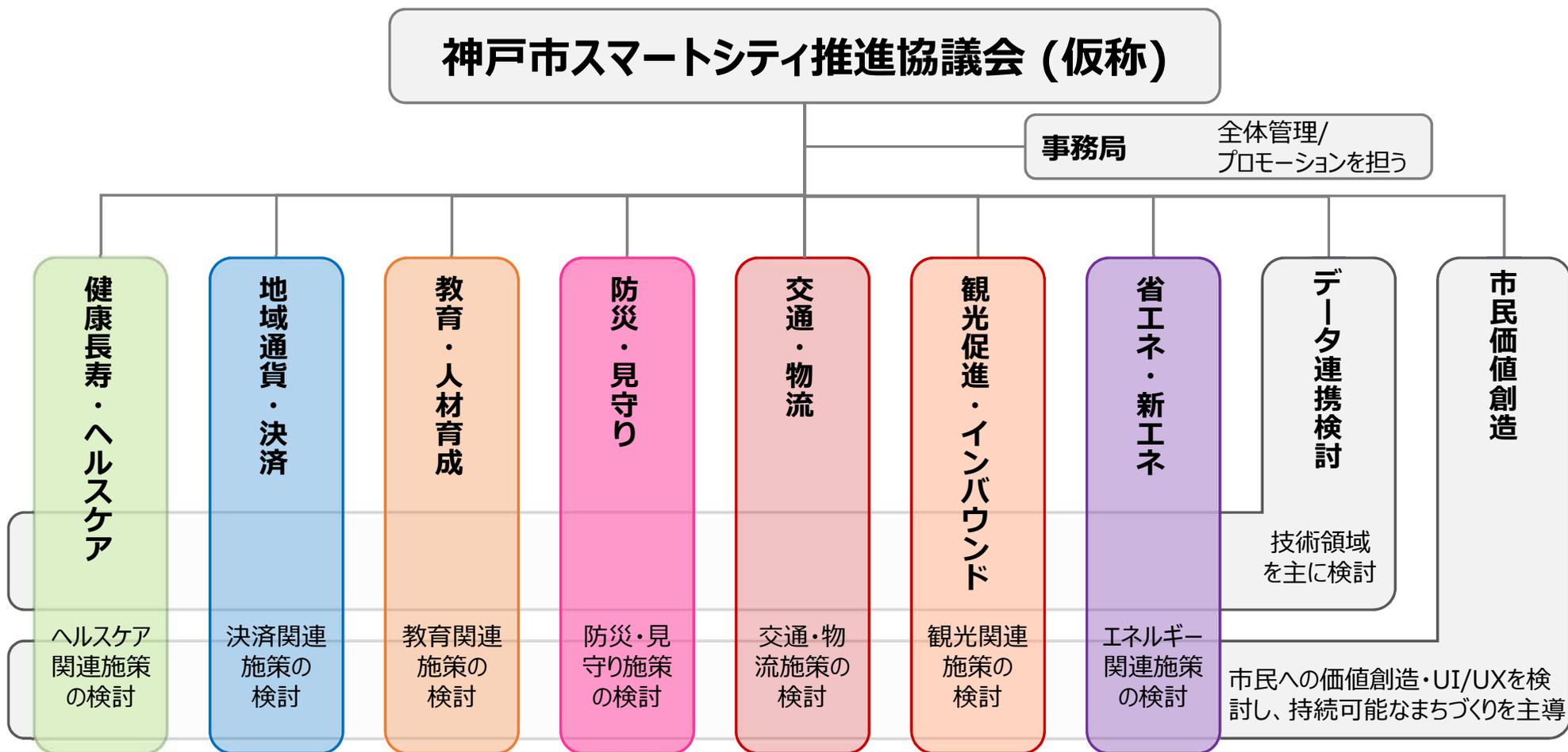
	地域協議会主導モデル	自治体主導モデル	民間主導モデル
概要	地域の企業や自治体などにより構成される地域協議会が地域のスマートシティを主導する	自治体を中心となって、スマートシティを主導する	民間企業を中心となって、スマートシティを主導する
特徴	市民参加と産官学民携が特徴であり、自治体から予算を得てスマートシティを推進するだけでなく、地域企業や大学など産学官が一体となった協議によって事業を進める	自治体が国からの補助金を基に、自らスマートシティ化を推進。複数自治体が連携するモデルも想定される	民間企業が自らの予算や、国・自治体の補助金を基に推進。ステークホルダーが少なくスピード感を持った推進が可能
データ取扱	都市OSを協議会で運用し、市民からオプトインで各種データが委ねられる。市民データは参加企業に対して原則オープンであり、産官学連携でサービスが立ち上がる	都市OSは自治体自らが運用し、市民から各種データが委ねられる。市民データを参加企業に対してオープンにするためには、都度個人情報保護審議会での審議が必要と想定される	都市OSは民間企業が運用し、市民のデータは民間企業が保有する。市民データの利活用に対する障壁は下がる一方で、市民の安心感を如何に担保するかが課題
事例	会津若松市、札幌市、さいたま市	富山市、加古川市、高松市	藤沢市、柏市、裾野市

スマートシティ推進体制（案）

神戸市スマートシティの取り組みは『神戸市スマートシティ推進協議会（仮称）』に集約し、官民一体となって推進していく。市民はもちろん、企業/教育機関なども積極的にスマートシティの取り組みに参加し、『市民・企業・行政』の全員が当事者として地域に深く関与しながら、神戸市の在り方を共に考え、共に創る。



神戸市スマートシティ推進協議会(仮称)：分科会体制(素案)

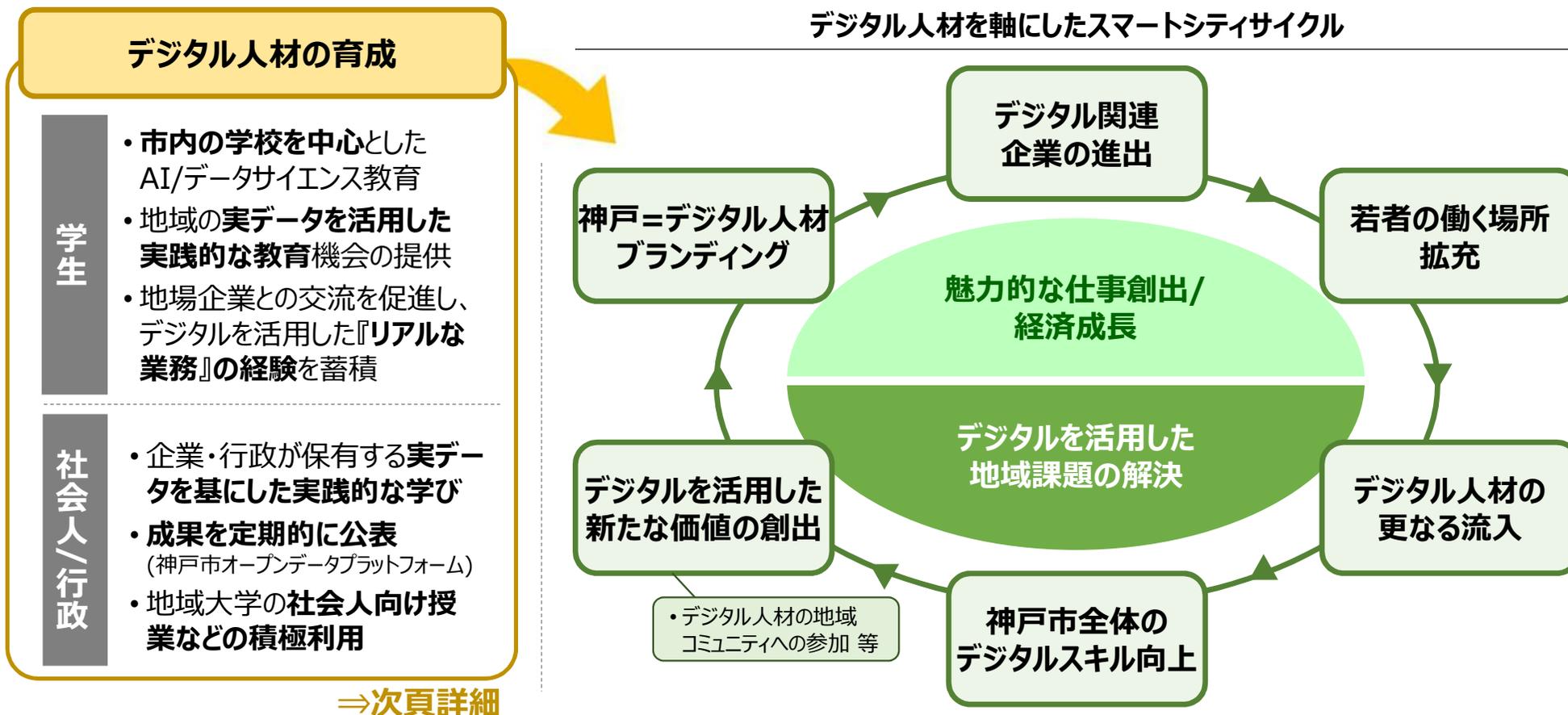


1. 神戸市スマートシティの実現に向けて
2. 提供サービス(案)
3. 神戸市スマートシティポータル
4. 推進体制
5. デジタル人材育成
6. 2024年までのロードマップ

スマートシティにおけるデジタル人材育成の重要性

神戸市スマートシティにおけるデジタル人材は「最先端のテクノロジーを理解し活用することができ、また、多様なデータの分析・戦略的な活用ができる者」と定義し、このような人材の育成を通じて神戸市スマートシティ推進を実現する。

デジタル人材を軸にしたスマートシティサイクル



デジタル人材育成施策

神戸市スマートシティを支えるデジタル人材として、学生・社会人/行政職員を育成する。それぞれ、単なる講座の開設にとどまらず、実践的な学びを提供することでスピード感を持った育成を実現する。

学生向け

リアルな学び

- スマートシティの取り組みの中で蓄積した、**実データやオープンデータの可視化・分析**を通じて学習
- 第一線で活躍する**デジタル人材を講師に招き、実践的な育成講座を開催**



実践による定着化

- 市内の企業や行政と協力し、デジタル関連の**インターンシップを実施**
- 実践の場で**日ごろの学びがどのように実務に活かせるか**を学生自らが体感
- **就職活動の一環**としても良い



成果の共有

- 四半期に1回程度、スマートシティ提供サービスを検討する**ハッカソン**などを開催
- 学生が主体的に作成したサービスは**常に神戸市スマートシティポータルへ掲載**
- 特に優秀な学生は**徹底的にサポート**



社会人/行政向け

社会人向け講座

- 第一線で活躍する講師が**実践的な講座を開催**
- 市内の企業・団体に幅広く**参加を呼びかけ、デジタル化のメリット・重要性を訴求**
- 実データに基づく**分析講座**なども開講



成果共有

- 企業や行政が保有するデータを可視化・分析し、**神戸オープンデータポータルに掲載**
- 構築したサービスなどは**神戸市スマートシティポータルへ掲載**



1. 神戸市スマートシティの実現に向けて
2. 提供サービス(案)
3. 神戸市スマートシティポータル
4. 推進体制
5. デジタル人材育成
6. 2024年までのロードマップ

KOBE 

